授　業　概　要

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者
コミュニケーション技術Ⅱ	（講義・演習・実習）	坪井 創（実務経験者）

授業の回数	時間数(単位数)	配当学年・時期	必修・選択
１５回	３０ 時間（1）	2年　前期	必修

［授業の目的・ねらい］

対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解し、利用者家族に対するコミュニケーションの技法ならびに介護チームの一員としての多職種間のコミュニケーション技法について学ぶ

［授業全体の内容の概要］

人間の理解と関連しながらコミュニケーションの基本を理解した上で具体的なコミュニケーション技法の習得を目指す。

［授業修了時の達成課題（到達目標）］

介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について理解する。種々のコミュニケーション技法を理解し、体験する事でそれらを習得する。記録・報告等について学び技術を習得する。

［授業のテーマ・内容］

1　介護における家族とのコミュニケーション
　障害の特性に応じたコミュニケーション　　利用者の感情を察する技法
2　〃　利用者の感情を察する技法（演習）
3　〃　利用者の納得と同意を得る技法
4　〃　質問の技法
5　〃　質問の技法（演習）
6　〃　相談・助言・指導の技法
7　〃　相談・助言・指導の技法　（演習）
8　〃　利用者の意欲を引き出す技法
9　〃　利用者本人と家族の意見の調整を図る技法
10　〃　複数の利用者がいる場面でのコミュニケーション（演習）
11　介護におけるチームのコミュニケーションとは
12　〃　チームのコミュニケーションの必要性
13　〃　記録の目的と留意点
14　〃　報告・連絡・相談・会議の留意点
15　まとめと試験

［使用テキスト・参考文献］

最新介護福祉士養成講座　　中央法規
コミュニケーション技術

［単位認定の方法及び基準］

（試験やレポートの評価基準など）
試験80％出席10％レポート10％